

METTS NEWSLETTER

教職課程センター・地域学校教育センター

特集 2020年度教員採用試験に向けて！

2020年度の教員採用試験に向けて、教職課程センターは始動いたしました。11月14日の東京都教員採用試験説明会、11月21日の最初の採用試験模擬試験、11月27日の教員採用試験学習対策説明会を開きました。12月21日には合格体験発表会が予定されています。全ての教職課程履修学生とセンター職員が一丸となって「チームMETTS」として、学生の夢の実現に向けてこれからも様々なアクションを起こしていきます。

東京都教員採用試験説明会開催

2019年11月14日、東京都教育庁人事部選考課課長代理（課務担当）馬見塚拓也氏を招き、東京都教員採用試験説明会を実施、英米語学科及び日本語学科の教職課程履修学生約30人が参加しました。10月に開催した千葉県での教員採用試験説明会にも参加しているため、それぞれの都県の魅力を比較することができました。来年度の採用試験まで残り8か月であることを痛感させられた学生たちは、今まで以上に教職教養の学習や英語や国語の模擬授業にも力が入るようになったと感じています。参加した学生からは、たくさんの質問が出されました。教員を希望するすべての学生の夢をかなえるためにこれからもMETTSは全力で支援してまいります。

決意

今回の説明会に参加してより一層来年の受験に対する気が引き締まった。試験までの残り8か月という月日がどれだけ短い期間なのかを意識させられた。短い期間内にやるべきことが明確になった。明海大学の歴史に残るほどの合格者が出るよう仲間と協力して勉学に励みたい。（日本語学科3年 高橋優人）



教員採用試験学習対策説明会

11月27日昼休み、METTSを会場に来年教員採用試験を受験する3年生向けの「教員採用試験学習対策説明会」が開かれました。参加した25人の学生に向けて大池教職課程センター副センター長から具体的な説明があり、また高野副学長からも補足説明がありました。採用試験までの具体的スケジュールについて、どの時期に何を勉強したらいいかについて、東京都と千葉県の試験内容の特色と対策などがわかりやすいパワーポイントを使っての説明でした。当日参加した学生は「東京都と千葉県の試験内容の比較があったり細かい勉強法も教えていただき、具体的なイメージがつかめ、やらなければならないことを実感させられました。と同時にどの県を受験したらいいか今までなかった悩みも生まれました」と話してくれました。



教員採用模擬試験の実施について

いよいよ教員採用試験の受験が8か月後に迫りました。METTSでは11月21日に第1回模擬試験を実施しました。今後3月と5月は全員受験、2月と4月は希望受験となります。現在の自分の実力を把握し、弱点を補強して、万全の状態で教員採用試験に臨んでもらいたいと強く希望いたします。

2020 明海大学「大学と地域連携の未来」シンポジウム(予告)

日時 2020年2月11日(火)12:00から16:30
基調講演 講師 村上徹也氏(独立行政法人 国立青少年教育振興機構 青少年教育研究センター長)
演題 「サービラーニングによる大学と地域の連携の意義」

アゴラ活用状況(人)

11月	1,520
2018年度 から延べ数	24,340

地域学校教育センター関連事業等

港区立御成門中学校訪問研修

12月6日、本学の教職課程を履修している32人の2年生が港区立御成門中学校を訪問して授業研修を行いました。今回の訪問は、大学の授業だけではなくイメージが掴みにくい「特別の教科 道徳」の授業を参観して、実際どのように「特別の教科 道徳」を教えることが必要なのかを研修する目的で実施しました。当日は、教務主任の岡田綾子主任教諭が実施する「見て見ぬふりをなくすためには」を主題とした道徳の授業を参観させていただき、学生は熱心にメモをとるなどして授業展開の方法を学びました。その後行われた岡田先生の講義の中でのアドバイス「道徳をしっかりとやれば学級経営も教科指導もうまくいく」等の言葉に感銘を受けました。佐藤太校長からは「一人ひとりの生徒をしっかりと受けとめ、伸ばし育てる学校づくり」についての学校経営の講話をいただきました。道徳の授業を初めて参観した学生からは「道徳の魅力が変わる素晴らしい授業に感動しました」などの感想が出されました。



二度の「あけみ英語村」を終えて

教職課程センター 金子 義隆

今年度は「明海大学あけみ英語村」を2回実施することができました。実施に当たり2つの主要プログラムを用意しました。一つはコミュニケーション・アクティビティで、パトリツィア先生とタイソン先生に1回目は花畑小の4年生用に、2回目は中島根小の6年生用に英語使用レベルを考慮した活動を考えてもらいました。もう一つは各国遊びです。韓国、ギリシャ、タイ、中国、ネパール、パキスタンの計6か国の遊びを留学生に紹介してもらいました。本学でしか体験できない充実したプログラムとなりました。あけみ英語村を通して小学生は「英語は楽しい」「英語が通じる」といった成功体験を積み重ねることができたと思います。また、本学の留学生と教職課程の学生の学生ボランティアが、小学生に積極的に英語で声を掛けてコミュニケーションに配慮して自分たちの役割を果たしてくれました。学生ボランティアの働きなしにこの事業の成功はありえませんでした。まさに学生と教員、職員がONE TEAMになって取り組んだ結果でした。

浦安市学習支援事業への参加

本学の外国語学部2年の高橋勇氣さん、佐久間健祐さん、矢吹駿介さんの3名の学生が、浦安市学習支援事業（NPO法人ワーカーズコープ）でボランティアとして頑張っています。週に1回程度、夕方から8時くらいまで小学校から高校3年生までの児童生徒対象に、わかりやすく学習サポートをしています。これからも継続して子供たちの自立のお手伝いをしてほしいと思います。



祝第64回文部科学大臣杯全国青年弁論大会第5位入賞！

11月10日に港区の高野山東京別院で開催された弁論の全国大会で本学から出場した鈴木遥香さん（HT学部2年）の『もうひとつの「O-MO-T-E-N-A-SH-I」』が、第5位の毎日新聞社賞・日本弁論連盟会長賞に輝きました。鈴木さんは「今までは人前で話すことが苦手でしたが、今回の入賞をきっかけに積極的になりたい」との感想でした。本学から出場した君塚翔伍さん（英米語学科1年）、島田美蝶さん（中国語学科2年）、林奈那さん（保健医療学部1年）も奨励賞を受賞することができました。ご支援いただきました教育後援会、学生支援課等皆様に心から感謝申し上げます。来年の第65回大会は岡山県で開催されます。今年以上の結果を残すために日々精進してほしいと思います。

